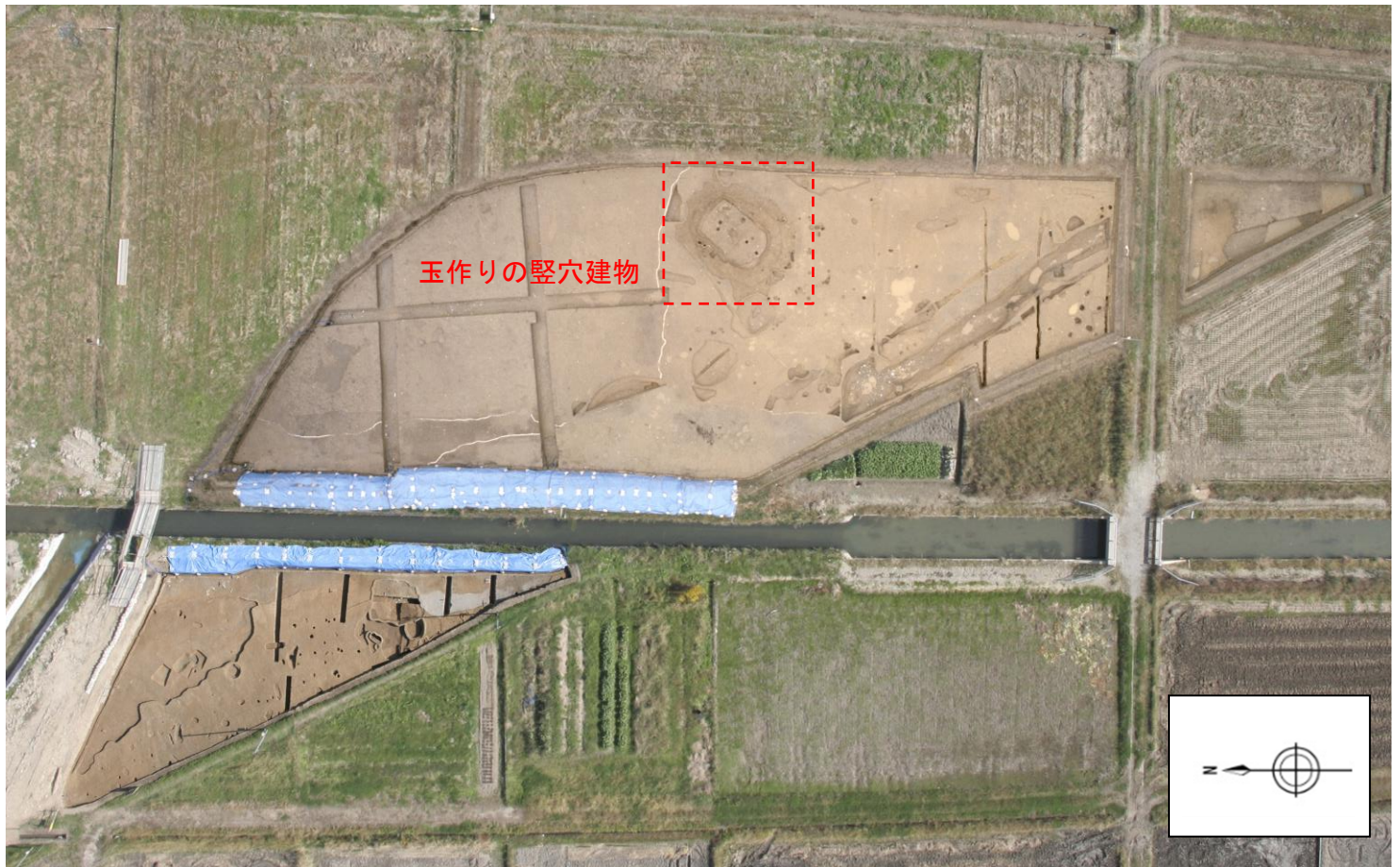


徳丸ジョウジャダ遺跡の玉作り 2



徳丸ジョウジャダ遺跡調査区全景（写真上が東）



玉作り工房の竪穴建物（写真上が南西方向）

竪穴建物は6.8m×4.5mの隅が丸い長方形の形をしており、床までの深さは約57cmである。

調査の時点では失われていたが、もとは建物の周囲を巡る幅1.2～1.3m程度の堤があったようである。建物中央には炉の跡があり、床面の壁際には壁溝が巡る。

床の面積は壁溝の内側で約20㎡（畳約12枚分）である。

写真提供：
石川県埋蔵文化財センター